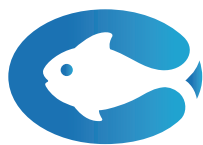


スイミーフレンズ【石川町】

令和 7 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ石川町		
○保護者評価実施期間	令和8年2月7日		～ 令和8年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年2月7日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で発見できた課題点、学校生活の中での課題点、ご家庭での課題点等を改善していくことができるような取り組みを考案している 今後の生活や活動、社会生活に必要なようになってくる能力を養えるよう曜日ごとに6種類以上の様々なプログラムを設定している 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関や指導員間での情報共有を密にし、短期目標、具体的指導内容を共有し、多少の個人差はあるが、共通指導が出来ている 年間計画は立てているが、日々の成長具合や瞬間的に起こった課題点などを解決していくことができるようプログラムに取り込み、子どもたちをはじめ保護者のご感想やご意見をいただき新たな課題解決に繋げている 	<ul style="list-style-type: none"> 1日1秒を大事にし、ひとつでも多くの課題解決に結びつけることができるよう、小さな課題は毎日更新し、短期目標も長期目標もクリアしていく意識を持つ 地域資源の活用を増やしていく
2	<ul style="list-style-type: none"> 長期間勤務している職員が増えてきているため、状況に合わせた適切な対応をすることができる 情報共有や共通指導が徹底されており、専門性が高くなってきている 学校や保護者との情報共有と共通指導 	<ul style="list-style-type: none"> プログラム内容と参加した際の情景が目浮かぶよう、連絡帳とは別に、その日のプログラム内容・目的・ポイントなどを具体的に記載したものを、連絡帳に添付し配布し、保護者が詳細を把握しやすいよう工夫している 日々の課題点とアプローチの仕方などを具体的に記載し、送迎時にも細かくお伝えしている 	<ul style="list-style-type: none"> 事例をもとに事業所内の研修を増やす 共通認識、共通指導のための情報交換の場を増やす
3	<ul style="list-style-type: none"> 人から好かれる人格形成 気持ちのコントロール能力形成 前向きな気持ちや心構えの強化 積極性と好奇心を育むアプローチ 聴く力・話す力の向上 全体把握・客観視する能力形成 	<ul style="list-style-type: none"> 昨日より今日が良くなるよう、今日より明日がさらに良くなるよう、確認作業と分析をし、次の瞬間に繋げている プログラムのSST以外の時間にも、常にSST要素を入れたアプローチ・助言・促しをしている 	<ul style="list-style-type: none"> 指導員が使用する単語や説明の仕方、促し方、ルールなどを統一し、利用者が混乱せず、スムーズに療育が入っていくよう意識を高める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対し、非常災害発生時の備え、定期的な避難、救出方法、訓練内容のご報告が足りていない 家族支援 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡帳の少ないスペースと送迎時の口頭での説明のみのご報告であった 面談時に家族支援の必要の聞き取りができていなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 書面にて、具体的な非常災害発生時の備え、定期的な避難、救出方法、訓練内容を提示し把握していただく 家族支援が必要な方への場を設ける
2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性に合わせた指導員の理解が不足している 人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族が小さなことでも気軽に相談していただきやすい環境や関係性に差があった 未経験者が多い 子どもたちに対し、偏った情報や知識で、良かれと思いつてもやってあげてしまうことが多く、経験の場や成長の場を奪ってしまいがちであった 	<ul style="list-style-type: none"> 日々のミーティングで情報共有、共通指導を徹底し、子どもへの理解度や対応能力を上げていく 人員配置に余裕を持たせ、生の対応を見せながら育成していく 日々必要だと感じた研修を考案し増やしていく 情報交換の時間を増やす
3	<ul style="list-style-type: none"> 指導員数の確保 避難訓練の内容説明 	<ul style="list-style-type: none"> 質の良い人材確保の新たな手法を取り入れることができていない 小規模な訓練が多い 事業所主導では様々な想定訓練ができていない(防災センターの方々のお力はお借りしている) 	<ul style="list-style-type: none"> 求人や採用の情報収集をし、新たな取り組みを試みる ご意見をいただき参考にさせていただき、取り入れたものを含めご説明させていただく 定期的に訓練しているが、詳細を記載したものを配布するようにする

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スイミーフレンス石川町
------	-------------

公表日 令和8年3月15日

利用児童数 18

回収数 17

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	6	1		・狭いなりに工夫はされているので問題ないと思います ・子供たちが成長し体格も大きくなりスペースが足りないと感じます(でも前の成長はともなく思っています) ・活動中や部屋の隅を探っていないので「どちらともいえない」にしています	活動内容やその都度の状況に合わせて工夫はしているが、体の成長と共にさらなる工夫を編み出していく
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2		1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	3				
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				引き続きスタッフ間の情報共有を密にし、高い専門性のある対処や共通指導ができるよう意識し実行していきます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1		1		面談時以外にも保護者からの情報提供を求め、ご要望を計画書に盛り込む
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				・いろいろな活動の中で常に成長を促すよう工夫されていると思います ・いつも子供たちのために様々なプログラムを企画して下さってありがとうございます！	狙いや目的などを明確にし、様々なプログラムを組み立てているが、利用者をはじめ親御様のご意見ご感想をしっかりと聞き取り次に繋げてまいります
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	4	4	・特に必要ないと思います	地域交流を年に何度かしているが、今後は親御様がもう少し把握しやすいよう工夫をしていく
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	4	2	・学校がメインでフォローすることができているため放デイでの必要性は感じていません	家族支援を行っているご家庭もありますが、事業所側から必要性をご確認させていただくことのできる用紙の配布をまいります
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2			・毎回送迎時に子供の様子や困り事を話して共有できています	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	2		・中高年になると就労を見据えての生活になるのでオンラインで15分！など1年の目標を共有できる機会があるといいなと思います	面談以外にもお気軽にご相談いただけるアナウンスをまいります
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					引き続き、共感的に支援をされていると感じていただけるよう、全スタッフで意識を高めていきます
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	7	2	・特に必要ないです ・学校がメインでフォローすることができているため放デイでの必要性は感じていません	必要性を感じるといふ意見が増えてきた場合、イベントを企画していきたいと思いきょうだいの支援の必要性を感じた場合は、引き続き直接会話や聞き取りをしたり、助言やフォローをさせていただきます
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1				迅速にご対応させていただいておりますが、対応先からのご返答待ちが長いことでもありますので、目処をお伝えするなどして工夫してまいります

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	17				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	14	3			定期的にSNSに活動記録を掲載し、ホームページ からもご確認いただけるようになっております が、再度アナウンスをしております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1		1	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2			面談の際に、全マニュアルを提示しご説 明させていただき、ご意見をお聞かせい ただき、取り入れてまいります
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	15	1		1	定期的に訓練しておりますが、詳細を記 載したものを配布するようにしてまいり ます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	16			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				・自分の居場所のひとつだと思っ ていると思います ・子供だけでなく保護者も安心 しています
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17				・いつも機嫌良く出かけるので 楽しみにしています ・その日の気分による ・いつも楽しみにしています
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				・いつも細やかに子供の様子 を見てくださり特性に沿った 支援をいただけてとても満足 しています

公表

事業所における自己評価結果

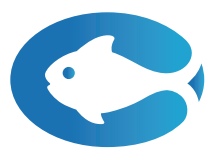
事業所名		公表日			
スイミーフレンズ石川町		令和8年3月15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	2	・児童人数に対して資格者配置はスタッフ数確保に努めているが、十分には足りていない ・障害が重い利用者さんを職員1人で2人以上同時に見るのはものすごい精神負担がかかる ・日によって不足していると感じるときもあります	急な欠員に対して余裕を持って対応できるような人員配置をしていきたい
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	1	・物を置くスペースが少し狭いかもです	教材や必要備品を計画的に入れ替えスペースを確保する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		・広々とした部屋で主に取り組みが出来ているが、集中して勉強するスペースを設けられたら尚良し	パーティション等で仕切りを設けるなどしているが、さらなる工夫ができないか検討し、試みていく
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12			パーティション等で仕切りを設けるなどしているが、さらなる工夫ができないか検討し、試みていく
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	1		資料を配布し把握と理解を深めていただく
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	1		研修は行っているが、現場ですぐに役立てられるようなオリジナルな内容を開催していきたいと考えている
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	1		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	・必ずではないが、気になった点など発言できる機会は設けられています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	3	・本年度は対象者がいないが、いる場合を情報共有をしている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	4	・ハロウィンイベントに参加し交流を深めた ・学童クラブのイベントに参加し交流した	活動内容の報告の閲覧を徹底し把握していただく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	・立場的にわかりません	その内容を全ての職員に周知徹底できるよう工夫していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1		家族支援の内容を報告し周知する
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3		必要ないとの申し出を周知する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3	・ラジオ体操、夏祭り、お餅つき、初詣などの参加を呼びかけ、交流した ・ハロウィンイベント(合奏発表やコスプレ大会)に参加し交流を深め、保護者をご招待したり、地域住民の方に放デイの存在や取り組みを把握していただく機会となった	個人情報漏洩や普段と違う環境での混乱がないよう配慮し検討していきたい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1		ご家族への周知や相談の場を設けていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	1		研修の際に資料を配布し把握と理解を深め訓練をしていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		・月に1度本部へ個々に提出し報告している ・毎日のミーティングで事例を出したり対応策について共有している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11				

スイミーフレンズ【滝頭】

令和 7 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ滝頭		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 23日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多種多様なプログラム企画があること	ご利用いただいているお子さん楽しんでいただける企画を毎月考えています。	これまでやったことのない企画の考案をし、お子さんたちが飽きないようにしていきます。また、既に企画したことのあるプログラムについては改良を重ね、より満足度が高く楽しく、そして安全なプログラムを計画していきます。
2	毎月保護者へ配布しているスイミーだよりや、SNS(X)の定期的な更新によって活動内容や日々の様子を公開していること	お子さん達のプライバシーや人権を守りつつ、普段の楽しい様子が伝わるように更新させていただいております。写真の使用についての同意書を事前に記入していただき、公開内容については各家庭のご意向に沿った使用方法としています。	現状の取組みを継続していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場を設けられていない	保護者同士の交流の場を設ける為の場所や時間についての調整が非常に難しいこと。	今年度としては、12月に開催したクリスマスの演劇発表会の際に、初の試みとして保護者同士が交流できる場を設けることができた。参加者からのご意見で良い反響を頂いている為、次回の開催も前向きに検討していきます。
2	事業所内のスペースが狭い	建物の元々の構造上、活動内容によっては事業所の広さについて不便や不満を感じることもあり、『広々とした支援のスペース』とは言い難い。	その時の活動内容に合わせて、フロアの使い方を工夫をしています。事業所の引っ越し等の方法は現実的ではないので、『限られたスペースでの過ごし方を考えることも療育の内』という考えもできる為、前向きな捉え方をして日々の取組みを行っています。
3	各種マニュアルの存在や避難訓練の実施について、ご家庭へのお伝えが十分にできていない。	避難訓練については、お子さんやご家庭に事前に知らせず実施することもよくある為、もし送迎時のお伝えができなかった場合には避難訓練などの取組みを実施したことを知って頂けていない可能性がある。	契約時の各種マニュアルについての丁寧な説明を行い、避難訓練実施時には連絡帳にその内容を連絡帳へ記載しその日のうちに保護者へお伝えできるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スイミーフレンズ滝頭
------	------------

公表日 2026年3月31日

利用児童数 32

回収数 16

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1	1	5	・狭い	決して広くはないスペースですので、使い方を工夫しながら過ごしております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1	1	3	・大変な仕事内容なので、配置基準に関わらず増やしてほしい。職員の負担が大きいと思う。 ・忙しい様子を感じる。そんな中、毎回多種多様なプログラムを準備してもらっていて有難い。	配置基準は満たした上で、必要に応じ、可能な限り職員の人数を設定しています。安全な運営をできるよう、心がけております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		6	・分かりやすい環境ですが、バリアフリーではない	事業所の構造上、完全なバリアフリー化は難しいのですが、より分かりやすく、より安全なつくりやシステムの構築を心がけております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10		1	5	・狭い	毎日の政争や整理整頓、そして季節を感じられる装飾など、居心地の良い環境になるよう心がけております。
適切な 支援 の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		1	・職員による	職員の『差がない』ことは、事業所としての『統一した支援』という意味では理想です。研修会の実施を励行し、職員の支援の質の向上を図っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1	・スイミーだよりでしっかり公表している	毎月の月刊紙『スイミーだより』にて、毎月の様子や翌月の予定をお知らせさせていただいております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1			・大変な業務内容の中、よくやって頂いている。	ありがたいお言葉、大変恐縮です。適切に取り組んでいくことを心がけて参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			4	・作成中だと思う	ご利用者毎に、適切な内容で設定し作成していくことを、これまで、今後も心がけて参ります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	4	4		
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1		1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	2	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	1			・よく理解頂いている	有難いお言葉、大変恐縮です。今後も、コミュニケーションを取らせていただきながらお子さんへの療育を続けて参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	3			・これから。	定期的に、面談の場を設けていただいております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	2	7	・保護者が参加出来るイベントが年一回。もっと増やしてほしい。昨年はイベント後の交流の場があり、きょうだいも参加出来良かった。 ・認識不足かもしれないが、きょうだい児向けのイベントについて聞いたことがない。	昨年、ようやく開催することができました。多くの反響をいただきまして、感謝申し上げます。今後の開催についても、前向きに検討している次第です。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	1		・相談の申し入れに対して回答の無い時があるが、直接対応して頂いている時はとても良くサポート、アドバイスしてもらえる。	回答が無かったことがあるところ、大変失礼な対応で申し訳ございませんでした。いただいたご相談には、しっかりとお応えいただけるようにして参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14			1	※未回答1件 ・外出イベント等、X(イック)で活動の様子が分かる。日常の様子についても状況が知りたい(その場合はXは非公開希望)	ご意見を踏まえ、社内でのXの更新内容や頻度について、ご希望にお応えできるよう検討して参りますが、個人情報等の情報管理との兼ね合いもあり、ご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			8	・行われていると思うが、実施していることは知らない	実施しておりますが、ご家庭へのお伝えが不十分だったのかもしれない。訓練等の実施について、ご家庭にもしっかとお伝えできるよう、ご連絡方法等の改善をしております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	13			3	・行われていると思うが、実施していることは知らない	非常時の安全確保につきまして、今一度確認を進め、正しい次第各ご家庭への周知を実施致します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	11	1		4	・事故等の経験が無い為わからない	大事な命をお預かりしている、という意識を常に持ち、万が一にも何かしらの事故が発生してしまった際には、迅速かつ的確な対応が出来るよう、その際の対応方法については職員に周知しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15		1		・「ダメ」の言葉に過敏に反応し、怒られるから嫌だ、となってしまう。楽な家と比べてしまうので、望んで土曜日も利用するくらい楽しい場所になって欲しい	お子さんの『安心感』に直結する職員の言動については、常に各職員が高い意識を持っていないといけないと考えます。日々、安心して楽しく過ごしていける環境づくりを心がけております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14		1	1	・登所しづりが時々ある	お子さん一人一人の気持ちに寄り添い、ご家庭の意向も確認しつつ、その後も『通いたい』と思っていただけのような対応を心がけております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・基本的に学童の代わりに利用している。職員や友達とのコミュニケーションづくりやイベント、日々の活動の取り組みなど、本当に有難く利用している ・我が家にとって無くては困る場所。いつもありがとうございます。	有難いお言葉、大変恐縮です。今後も満足していただける運営を心がけて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

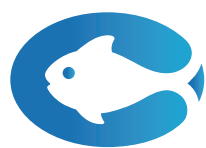
事業所名		公表日				
スイミーフレンズ滝頭		2026年 3月 31日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4		・10人を超えると狭く、多動のお子さんが走り回っている時は特に危ないと感じる ・児童の成長とともにスペースに多少不足を
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2		・適切な日も多いが、急な利用や職員の急な欠勤によっては適切でないと感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3		・トイレ前の段差など、一部注意が必要な箇所はあるが、概ねなされている。 ・不安定になったお子さんを隔離するスペースを充実させたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		・第三者による評価は行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		・分からないが、たぶんされている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		(未回答1名)
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		(未回答1名)
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		(未回答1名)
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5		・その日のうちには行っていない。翌日行っている。 (未回答1名)

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2	・事業所への到着時間や体温等、留意事項を記載する表をその日ごとに作成し、職員間で共有している。	(未回答1名)
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1		(未回答1名)
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0		(未回答1名)
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		(未回答1名)
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		(未回答1名)
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・必要に応じて各機関とのやり取りを行い、その都度対応している。	(未回答1名)
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		(未回答1名)
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	・必要に応じて各機関とのやり取りを行い、その都度対応している。現状、情報共有はしていないが、必要に応じやり取りを行う。	・全員は行えていない。 (未回答1名)
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	・これまでそのようなタイミングは無かったが、今後その機会があれば情報提供を行う。	(未回答1名)
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		(未回答1名)
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・公園等での交流のみ	・安全確保の観点から、他団体との交流は行っていない。 (未回答1名)
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3		(未回答1名)
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		(未回答1名)
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3		(未回答1名)
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6		・保護者会は開催していないと思う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		・個人情報書類破棄保管物がある	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・安全面を考慮し、このようなことは行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	2	・ヒヤリハットを、各職員が気付いた時に気軽に記入できるよう用紙を設置している。	・最近は疎かになってしまっている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	年に数回、職員研修を実施し、虐待防止への意識の維持及び向上を図っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	現状、身体拘束に至るケースが発生していない為実行はしていないが、身体拘束に関する相談や確認は必要に応じて、適宜行う構えで	

スイミーフレンズ [本牧]

令和 7 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ本牧		
○保護者評価実施期間	令和8年2月26日		～ 令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年2月26日		～ 令和8年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日毎にプログラムを設定していて、様々なニーズに対応できる	プログラムをスタッフ間で定期的に話し合い、満足度の高いプログラムに繋がるよう工夫している	AIなども適宜活用しプログラムの深化を図る 各種ツールの充実や幅広い情報の取得、スタッフの専門性を高めるため 知識の取得に努める
2	家庭的な雰囲気の中で、安心して過ごす事のできる環境を提供している	ミーティングでのスタッフへの研修等を通して お子さんへの支援、接遇について意識づけを図っている	接遇や虐待防止などの各種研修やミーティングでの話を通じてスタッフの質の向上に努める
3	利用者一人ひとりに寄り添った個別支援ができています	定期的な面談や日々の声かけを通じてニーズを把握し、 支援計画に反映している	記録のデータ化や職員間での情報共有を強化し、 より質の高い個別支援を実現する

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの年齢層が高い	立地的、採用のシステムに問題があるのか 新規採用や若年層のスタッフ雇用に結びつかない	大学、専門学校等へのボランティアへの働きかけを行い、非常勤スタッフへの雇用などに繋げていく
2	Xやスイミーだより(月間予定表)での活動内容の報告以外に日々の様子保護者様へ知らせる事が必要	その日の活動の写真などを日々保護者の方にご覧頂くシステムがない	・手書き連絡帳のシステムを変更する ・定期的に日々の写真を印刷して保護者の方に見て頂く
3	職員の負担が偏ることがある	人員配置や業務分担の見直し不十分	・業務量の見える化 ・適正配置 ・役割分担の明確化を進める

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スイミーフレンズ本牧
------	------------

公表日 R8年3月31日

利用児童数 42名

回収数 32

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	2		1	明るく広いスペース	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27	3		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	3		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	4		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	4		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	6	1	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27		1	4		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	4		4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	3	1	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	1		1	・様々なプログラムで家で経験できない事をさせてくれ、こどもの「好き」を一緒にさがしてくれる。 ・週末には遠出のプログラムを組んでくれる。	
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	5	1	11	グループ内での行事の交流で他の療育で一緒だった友達と会えて喜んでいた。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	4		2		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	5		2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	14	8	5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	23	5	3	1	・送迎の際に子供の様子を細かく伝えてくれ家族に寄り添ってくれる。勤務時間の変化などにも柔軟に対応してくれ本当に感謝している。 ・帰宅時のコミュニケーションは有難い。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	4	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	1		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	4	10	8	保護者同士が関わると嬉しい	年末の保護者に見学して頂くクリスマス会のようなイベントを定期的に実施する
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	2		4	親身に対応してくれている		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	25	4		3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	31			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	4				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	5		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	28	1		3	定期的に避難訓練を実施していて頼も しく感じる	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	29	3				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	2		2		
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	1			・相談した際も迅速に対応してくれ、本人 が楽しみに通っている ・第2の居場所です	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	1			・家で出来ない事もスイミーでは出来たる食べら れたり子供の成長の場として大変満足している。 ・いつも臨機応変に対応してくれて感謝です	

公表

事業所における自己評価結果

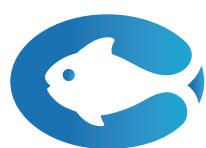
事業所名		スイミーフレンズ本牧				公表日	R8年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	6			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	15	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	3			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	15	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	15	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	3		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	14			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	6		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	16			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	5		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	2		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	1		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	2		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	3		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	2		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	2			

スイミーフレンズ【南区役所前】

令和 7 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ南区役所前		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん達が楽しんで通所している。	意思決定支援を重視し、自主性を重んじる支援をおこなっている。 活動がマンネリ化しないよう、お子さん達の要望も取り入れながらプログラムを決めている。	よりお子さん達の「やってみたい」をかなえることができるよう、環境を整えていく。
2	生活空間が構造化され、見通しがたやすい環境設定がなされている。	一日流れをイラストと文字を用いて掲示し、見通しを持ちやすくしている。 事業所内の決まり事や意識してほしいことについては、掲示物を作成して視覚的に確認できるようにしている。	物の片付ける場所を写真で示す等、さらに見通しの立ちやすい環境設定を進めていく。
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	お子さん達が意欲的に参加して必要な体験の機会を提供できるように、お子さんたち自身の意見も聞きながらプログラムを立案している。	平日のプログラムをグループ分けしていく等、今まで以上に個々のニーズにあったプログラムを実施できるよう検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、兄弟同士の交流の機会が少ない。	昨年末から年に1回の保護者を招いての発表会を開催し始めたところであり、交流の場を設けてこなかった。	発表会以外にも、もう1つくらいは保護者参加のイベントの開催を検討していく。
2	安全確保の取り組みが広く周知されていない。	欠席等で避難訓練に参加できなかったご家庭には、避難訓練の実施状況が分からなくなってしまう。 大規模災害時の動きに関して、具体的な内容が全体には周知されていなかった。	安全確保の取り組みについての各種マニュアルを、各ご家庭に配布する。
3	家族支援や保護者向け研修会の情報提供などが、全体には周知されていない。	ご要望や必要に応じて行ってきたが、全体周知には至ってなかった。	保護者向け研修会等の情報提供は、全ご家庭に書面にて配布していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		スイミーフレンス南区役所前				公表日	2026年3月31日	
		利用児童数				33人(家庭数30)		
						回収数	18	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15			3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	2	4	ご家族もご参加いただける研修会等の情報提供も行っていきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	18					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	2	2	年に1回の保護者向け発表会だけではなく、交流の機会が持てるよう検討させていただきます。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	18					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	17	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15		1	2	入居後災害が起きた時、保護者はこ う したら良いか気になる。(事業所と自宅 が近所でないのが特に)	保護者に向けて、各対応のマニュアル を配布して周知させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	14			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	17			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			1	今まで事故発生の経験がない為分か ら ない。	
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				放課後以外は楽しみに通所してい る。 (イベントや外出等)	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18					

公表

事業所における自己評価結果

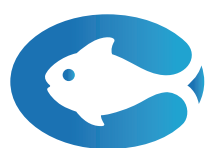
事業所名		スイミーフレンス南区役所前			公表日	2026年3月31日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		支援室内をエリア分けし、限られたスペースを有効に使えるようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用者2名に対して職員1名を目安に人員配置を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	見通しを持って安心して過ごせるよう、イラストと文字による一日の流れを掲示している。	トイレ前に段差があるので、歩行困難なお子さんの介助時に注意が必要である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	毎日清掃と消毒を行い、清潔を保っている。	下の階がクリニックなので、騒音に気を付ける必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	体調不良やクールダウンの為、お子さんの希望に応じて安静室や面談室を利用できる。	安静室や面談室に限りがあるので、全員の希望をかなえられないときもある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	ミーティング以外にも日々の打ち合わせの中で、支援の目標や振り返りが行われている。	出勤日数が少ない職員に対して、振り返りが十分でないことがある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者評価の結果は全職員に共有し、課題解決に向けている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5		第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		管理者による外部研修のフィードバックを行ったり、各種の事業所内研修を行っている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		HPにて、支援プログラムを公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		個別支援計画をもとに支援内容が共有されるとともに、いつでも個別支援計画を振り替えることができるようファイリングされている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		月ごとに次月のプログラムに関する打合せを行い、プログラムを立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日支援開始前の打合せを行い、申し送り事項や一日の流れと注意事項等共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	毎日支援終了後に、振り返りや課題点などを共有している。	退勤時間や出勤状況によっては、当日中の共有が難しい時もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		おやつのお皿や制作時の素材等、日々の支援の中で小さなことでもお子様自身が「選ぶ」機会を意識的にもっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	5		まだ卒業して障害福祉サービス事業所等へ移行した利用者はいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		課外活動を通して、地域のお子様とドッチボールやサッカーをしたりして交流をもっている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		必要やご要望に応じてご家族へのアドバイスをしたり、外部事業所の研修の情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			昨年保護者を招いての発表会を行い、発表後に歓談の時間を設けたことで、保護者の皆様から喜びのお声を多くいただいた。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			言葉だけでは意思伝達が難しい場合は、絵カードや選択方式を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6			個人情報保護や安全確保の観点から、広く地域住民を招くことはしていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10				
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10				
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	5			各種マニュアル等、事業所の取り組み内容を保護者に配布することを予定している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10				
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10					

スイミーフレンズ【井土ヶ谷】

令和 7 年度 / 評価表



放課後等デイサービス

Swimmy Friends

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スイミーフレンズ井土ヶ谷			
○保護者評価実施期間	2026年2月7日		～	2026年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名 (20家庭)	(回答者数)	14家庭
○従業者評価実施期間	2026年2月7日		～	2026年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の環境として、部屋が個々でわかれているため、用途に応じた使い分けができています。	他の児童の遊び声などが届かず集中できる環境を作るため、事業所奥にある部屋を勉強を行う部屋にしている。	使用していない遊具や楽器などが置かれているため、目に入らないよう隠すなどの配慮を行っていく。
2	曜日ごとにプログラムを設定し、ニーズに合わせた利用ができるようになっている。	子どもたちへ聞き取りを行い、よりニーズの高い内容をプログラム作成の参考としている。	子どもたちだけでなくご家庭へも聞き取りを行いプログラム作成の参考としていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎時に対応する職員によるご家庭への情報共有の差が出ている。	共有すべき事項の認識が職員ごとに違うと考えている。	ミーティングや職員研修を通じて、支援にあたった内容やその日にあったことなど共有すべき事項について意識を高めていく。
2	避難訓練や危険予知トレーニング、不審者対応など訓練の実施とご家庭への周知。	口頭による説明で終わってしまい、実質訓練的には行えておらず、意図が周知できていなかった。	口頭で説明する以上に状況を想定したロールプレイを行い、ご家庭へ説明、周知を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スイミーフレンズ井土ヶ谷

公表日 2026年3月31日

利用児童数 22名 (20家庭)

回収数 14枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	3		1	・事業所の広さは十分と思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			3	・見学時に見たかぎりではしっかりと対応できていた ・配置数の適正がわからない	・児童2名に対して1名の職員で運営する 適正配置の周知を行う。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		2	・忘れ物が多いので声がけてほしい。 ・多数の事業所運営の実績が活かされていると想定している。	・帰宅時に全児童に対する声かけを実施する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1		2	・見学時に見た限りでは清潔であった。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2		2	・送迎時「ダメ！」と厳しい声かけの職員がいる。障害にあった声かけをして欲しい。 ・勉強のフォローや病気に対するケア等、安定的にしっかり対応してくれている。	・事業所内で職員対象に研修を実施し、ロールプレイングによるトレーニングを行う。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1		3		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1		2	・ガイドラインを知らないため評価できない。	・ガイドラインを周知する。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13			1	・計画に沿った支援がなされていると思う。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2	1	1	・ダンスの曲など新しくなっていると聞いている。 ・アクティブな活動も多くとてもありがたい。 ・季節ごとに様々なプログラムがある。	・今後もマンネリ化しないよう工夫したプログラムの発案を心掛けると共に、ご家庭への周知を行っていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	1	7	・なくても良いと思う。 ・特に必要とは思わない。	・ご意見を踏まえ、検討していく。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	3			・初回以降、詳細なし ・されたと思うがわからない	・更新毎、丁寧な説明を心掛ける。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	5	5	・特に必要を感じない。	・ご意見を踏まえ、検討していく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13			1	・送迎時に職員によって差はあるが、連絡帳でなんとなく。 ・日々の様子や支援状況などを、毎日しっかりと丁寧に共有いただいている。	・ミーティングや事業所内研修などを通じてどの職員が対応しても差がないように努める。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2	1	3	・個別支援計画書の面談が遅れたがやっ ていただけてよかった。	・遅れることのないように適切な時期に行えるようにしていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・本人も職員をととても信頼しており、寄り添いながら成長を助けていただいていると感じている。	

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	5	6	・なくても問題ない。	・ご意見を踏まえ、検討していく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				・メールを活用し、タイムリーに対応していただいております。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1			・いつも丁寧に説明していただいている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	2		2	・Xでの発信も定期的にしていただければと思います。	・Xでの発信内容が休日の活動に偏っていたため平日の活動も発信していく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	3		1	・一度子どもが持ち帰ってきた工作（裏紙使用）の表面が個人名記載のものだった。	・ミーティングを実施し、今後このようなことがないように全職員に周知し、個人情報を含むものが裏紙に混入しないようチェックを行う。また、子どもが使用する前に確認を行う。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	1	6		・訓練実施について、ご家庭に分かるように周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		6		・訓練実施について、ご家庭に分かるように周知していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	2		3	・調理実習が多いので火傷やけがなど注意してしっかり見守っていただくと助かる。	・ケガのリスクがある際には事前に注意しなければいけない場面を想定、共有して活動を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1			・ケガをした時連絡をいただくと助かる。 ・有事の際には状況に応じて適切な連絡を適宜実施していただいている。	・ケガをした際に連絡を行う判断を適切に行えるよう、ミーティングを通して共有する。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				・スタッフの方の配慮のおかげで子ども自身が安心して通えている。	・今後も慢心せず、安心安全に配慮して運営に努めていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			・友だちがたくさんできて喜んでいる。 ・本人もとても良いと言っている。 ・お家でもお話に出してくれるくらい日々の通所を楽しみにしている。	・今後も慢心せず、子どもたちに通所を楽しんでもらえるよう日々の活動など工夫していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				・基本的には満足だと思いますが、誕生日アルバムがもらえずかわいそうだった。 ・お出かけも多く、お友だちと出かけた料理したりという経験ができて、ありがたい。 ・優しいスタッフがたくさんいて安心している。 ・満足しているし、支援に対して感謝している。	・利用期間が短く、アルバム作成が困難な場合においても工夫をしてお渡しできるようにする。 ・今後も慢心せず、満足していただける支援に努めていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スイミーフレンズ井土ヶ谷				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、送迎後や子どもが来所する前の午前中に掃除を行い清潔な環境を整えることができている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		勉強に集中している部屋が整えられている。 勉強を行う部屋、静養する部屋、活動を行う部屋と分けている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	1	毎日送迎前の申し送り時に広く意見を求めて話し合う時間を設けている。	忙しい中大変だけれど、もう少し様々な事柄を話し合う場が欲しいと思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	毎日行っている申し送りの際や送迎後の時間を使い、意見の聞き取りを行い改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		毎月のスイミーだよりにてお知らせできるようになっている。	活動内容を話し合う場を少しでも作って欲しい。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	個々の子どもの特性を理解し、指導を促すことが出来ている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		1ヶ月以上前から各人で調べるなどし、プログラムを実行し、必要な際には他の職員と情報共有を行いながら進めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	入念な事前チェックを行っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		一人一人の状況に合わせて管理者が考慮している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		入念なミーティング、事前の用意やチェックを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	報告し合い、共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		改善につながる話し合いを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管を兼務している管理者が参画し、ミーティングなどを通じて情報共有している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校との引継ぎ事項を適宜管理者へ報告し、事業所内で情報共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	近隣の公園での課外活動時など地域の学校の子どもと遊ぶ機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	研修への参加など積極的に行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	連絡帳の他、送迎時にその日の出来事を保護者に伝えている。	職員によって伝える内容に差が出てしまっている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1		
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		親切にフォローをしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2				
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			個人情報を含むものとそれ以外のものを分けている。個人情報を含むものはシュレッダーを使用し、破碎した後に破棄している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			管理者よりデリケートなコミュニケーションを指示されている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。						
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		1			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3				ノートやファイルにて全職員が確認できるようになっている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				月に1回FAXによる報告する制度がある。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2					